

■ スタッフ



こうの とし のり  
**河野 芳功**  
主任部長、部長  
日本小児科学会専門医、日本周産期・新生児医学会暫定指導医、日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コースインストラクター



なが さわ ひろ ゆき  
**長澤 宏幸**  
主任医長  
日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コースインストラクター



やま もと ゆたか  
**山本 裕**  
医長  
日本小児科学会専門医、日本周産期・新生児医学会周産期（新生児）専門医、日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コースインストラクター



おん ぢろ まさひろ  
**近藤 應**  
医長  
日本小児科学会専門医、日本周産期・新生児医学会周産期（新生児）専門医、日本アレルギー学会専門医、日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コースインストラクター



すがわら まさみ  
**菅原 勝美**  
医師  
日本小児科学会専門医



てらざわ だいつく  
**寺澤 大祐**  
医師  
日本小児科学会専門医、日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コースインストラクター



みやうら りょうすけ  
**三浦 良介**  
医師  
日本小児科学会専門医



わき さとし  
**柘植 智史**  
医師  
日本小児科学会専門医、日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コースインストラクター



もり りかこ  
**森 理香子**  
医師



うえの ゆうたろう  
**上野 裕太郎**  
医師

## ■施設認定

1. 日本小児科学会（専門医制度研修施設）
2. 日本周産期・新生児医学会（周産期新生児専門医制度基幹研修施設）

## ■得意とする診療分野及び成績

外来統計（平成 26 年度）

受診者数 …… 2,158 人  
 新患総数 …… 125 人  
 患者紹介率 …… 21.3%  
 逆紹介率 …… 73.8%

1. 年間入院数 300~350 例（低出生体重児：病的成熟児 =6:4）
2. 超低出生体重児（1000g 未満）年間入院数約 20 例（過去 5 年間の生存率 88.8%）
3. 極低出生体重児（1000g ~ 1499g）年間入院数約 30 例（過去 5 年間の生存率 95.9%）
4. 母乳育児の推進、特に退院後の母乳育児率の向上を目指します。
5. 重症新生児仮死に対する脳低温療法
6. 新生児遷延性肺高血圧症に対する一酸化窒素吸入療法
7. Stress-Velocity 関係に配慮した生後早期の循環管理
8. 早期親子関係確立への支援（カンガルーケアの導入）による虐待予防
9. デベロップメンタルケアによる精神運動発達の支援
10. 臨床心理士が実施する発達検査（新版 K 式、WISC- IV）による発達の評価

## ■主な医療機器並びに設備

1. 新生児・母体搬送用ドクターカー（平成 20 年度更新：モバイル画像転送システム搭載）
2. 新生児センター病床数 40 床（うち NICU12 床）
3. 新生児用人工呼吸器 20 台（うち HFO 対応 12 台）
4. 3D 心臓超音波診断装置およびポータブル超音波診断装置
5. 検査室（血液ガス電解質分析装置、アルブミン非結合型ビリルビン測定器）
6. 生体監視装置 40 台（経皮ガスモニター 12 台、脳波モニター 2 台、Etco2 モニター 3 台）
7. NO 治療装置
8. 低体温維持装置と aEEG
9. 血液浄化用装置

## ■週間予定

曜日	午前	連絡先（内線）	午後	連絡先（内線）
月曜日	病棟回診 病棟検査処置等	3070 3067 3068	発達外来 病棟処置等 ベッドサイドミーティング	3060 3070 3067
火曜日				
水曜日				
木曜日				
金曜日				

## ■平日診療時間内緊急連絡先（8:30 ~ 17:15）

		月	火	水	木	金
内線 3070	午前	NICUへ照会				
	午後					

夜間（17:15 以降）・休日は救命救急センターへ  
 TEL 058-246-1111（代表）＜救命救急センター呼び出し＞